

キリスト教礼拝音楽学会 第12回大会 案内

★テーマ：礼拝における創作と実践

★日時：2012年5月26日(土) 10:00-16:30

★会場：西南学院 チャペル

〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
連絡先携帯 090-4223-0805 (手代木)

★主催：キリスト教礼拝音楽学会

★会費：会 員 ¥3,000 / 非会員 ¥1,000

*昼食は西南学院キャンパス内の食堂をご案内いたしますが、昼食代は各自ご負担をお願いいたします。

●プログラム

9:30 -	受付	総合司会	伊東辰彦
10:00 - 10:05	挨拶	会長	金澤正剛
10:05 - 10:10	挨拶	前会長	古澤嘉生
10:10 - 10:35	研究発表 「礼拝における創作と実践—カトリックにおける典礼音楽とオルガン」	...	林隆一郎
10:35 - 10:45	質疑応答		
10:45 - 11:00	休憩		
11:00 - 12:00	講演「礼拝における讃美と音楽」	前会長	古澤嘉生
12:00 - 12:30	総会		
12:30 - 14:00	昼食、自由行動		
14:00 - 15:30	シンポジウム「阿部正義のオラトリオ『ヨブ』をめぐって		
15:30 - 15:45	休憩		
15:45 - 16:30	フリートーク①大会について②今後の展望③金子みすゞについて		
16:30	会長閉会挨拶		金澤正剛

参加申込：5月9日(水)締切・厳守

大会案内の申込書に記入し、下記宛、郵送・FAXのいずれかで、お申し込みください。

多くの方のご参加をお待ちいたしております。

参加費は郵便振替口座(キリスト教礼拝音楽学会東北地区部会02240-3-46335)に大会費と明記し、お振込みください。

申込先：〒145-0071 東京都大田区田園調布2-48-12-501 手代木方 キリスト教礼拝音楽学会大会係
Tel/Fax: 03-3721-0891 (手代木) E-mail: gammo@ka2.so-net.ne.jp

西南学院にて開催される福岡大会(第12回)への招き

古澤 嘉生

今年の<キリスト教礼拝音楽学会>の大会が初めて本州を離れ、九州・福岡の西南学院で開かれることになりました。ここはどういう学校でしょうか。西南学院は21世紀のテーマとして“*Impacting the World*”という表現を掲げています。これはキリスト教がもつ普遍的な特質である平和、人類愛、自由の価値を理解し、真理に基づいて世界を導く人材、他に先駆けて善・正義を実践する精神を持って、他者・社会、さらには地球を思いやる人物の育成を目標としているのです。それによって世界に“*impact*”を与え、貢献する学院となることを理想とし、かつ目指していると言うことができます。西南学院は1916(大正5)年に米国の南部バプテスト派から派遣された宣教師C. K. ドージャーによって創設された学校です。男子中学校として出発し、戦後、高校、そして大学が開学されましたが、各学校において、かなり積極的にチャペルは守られ、キリスト教に基づいた教育がなされてきています。従って讃美歌をよく歌う習慣はずっと続いてきています。昭和の初期でしょうか、バリトン歌手として活躍した伊藤武雄氏は西南学院の卒業生、1950年頃にはピアニスト・指揮者として活躍した福永陽一郎氏も在学していました。グリークラブの歴史も古く、大学創設後(1949-51年頃)には当時福岡に在住していた指揮者石丸 寛氏がグリークラブを指導していた時代もあり、男声合唱は隆盛を極めていました。一方、モテット、アンセム等キリスト教音楽を中心に歌う混声合唱のクワイアも結成され、学内のチャペルを中心に諸式典・行事に奉仕し、また学外では、毎年各地の諸教会、病院、社会施設を巡回し奉仕を続けていました。聖路加国際病院礼拝堂(東京)、浦上天主堂(長崎)などにおいてもささやかな演奏会を開催させていただいた年もありました。西南学院のオルガンについては、創立70周年記念の企画として、1987年、大学礼拝堂(ランキン・チャペル)に手鍵盤3段+足鍵盤、ストップ数33個のオルガン、辻オルガン作品44号、が建造されました。チャペル・アワーで学生たちが讃美歌を力強く歌うためのオルガンを、との願いを持つ大学は、17、18世紀の北ドイツ様式を基盤とし、明確な理念を持って音の理想を

追求してきていた辻 宏氏にその制作を依頼したのです。私たちの願いは叶って、爾来およそ20年間オルガンがチャペル・アワーにおける奏楽と讃美のためのよき楽器として、また国内外のオルガン奏者によるコンサートのための楽器として実に有意義に用いられてきたと思います。今まで外国からの奏者には次のような方々がありました。ピーター・ラヒューレイ(英・ケンブリッジ)、ペーター・プラニヤフスキー、マッシモ・ノッセティ(伊)、ギー・ボヴェ(スイス)、ヤン・エルンスト(独・シュヴェリーン)、ウリオール(スペイン)、ハロルド・フォーゲル、その他です。福岡には地震などの天災はないと言われ、福岡に住む私たちもそのように信じていました。ところが、2005年3月には突然、短時間でしたが、激しい地震に見舞われました。<福岡西方沖地震>というものです。チャペルのこのオルガンもペダル・タワーにあった<プレスタント16'>の大きなパイプの一つが落下し、無惨にも完全に潰れ、被害は他の多くのパイプにも及んでいました。新学期には一応、応急措置を、そして夏休みには<辻オルガン>による酷暑の下の数週間に及ぶ作業の末、見事に修復されたのでした。しかし、学院理事会は、耐震工作がなされていないチャペル自体の建て直しを決定しました。翌夏、修復したばかりのオルガンは解体され、建物の建設を待つことになりました。現在は完成した新大学チャペルのバルコニーの正面に座っています。西南学院にはもう一台小型のパイプオルガンがあります。それは1920年建設のヴォーリズ氏設計による西南最古の建物である現在の大学博物館にあります。ここは元は西南学院本部であり、二階、三階は講堂・礼拝堂として永く使用されてきた所です。オルガンの資金の始まりは、大学神学部がいくばくかの寄附金を基にオルガン基金を設定したところからでした。オルガンの選定は神学部内の委員会で調査、検討を重ね、再び<辻オルガン>に制作を依頼することになりました。辻 宏氏はすでに難病と闘っておられましたが、最後までこのオルガンの制作に情熱を燃やし、その過程では、口ではもはや意志を伝達することができなくなっておられ、コミュニケーションには困難があ

りました。しかし、このオルガンは、オルガン・ビルダーとしての辻 宏の全身全霊のスピリットが込められた彼の最後の作品82号になったのです。西南学院のキャンパスの中には、宗教法人の西南学院バプテスト教会があります。ここにも1963年から、ほとんど100年の歴史を持つ1914年制作の米国製（カール・バーコフ・オルガン）が最近まででありましたが、大学チャペルと同様に耐震構造の新礼拝堂建築のために解体されました。2013年には田尻隆二氏

(岐阜県・高山オルガン)の手になる、やはり北ドイツ様式を基本とした新しいオルガンが（古いオルガンの一部を取り入れて）設置される予定になっています。西南学院がある福岡は、北は博多湾に面し、南には静かな山々が控えています。海と山の新鮮な幸が多いといわれる所です。福岡大会には是非ご参集くださるようご案内し、お待ちしております。

(西南学院大学名誉教授)



小倉	JR (快速) 約70分	博多	福岡市営地下鉄 約13分	西新	徒歩 約5分
飯塚	JR 約45分				
佐賀	JR (快速) 約60分				
大牟田	西鉄 約70分	天神	福岡市営地下鉄 約7分		
唐津	JR・福岡市営地下鉄 約60分				
福岡空港	福岡市営地下鉄 約19分				



★役員会報告

- ①日 時：2011年11月19日(日) 14:00-
場 所：明治学院記念館小会議室
出席者：金澤、塩谷、手代木
議 題：学会誌、ニュースレター、第12回大会について
- ②日 時：2012年1月21日(日) 14:30-
場 所：立教大学セントポールズ会館
出席者：赤井、伊東、金澤、佐々木、塩谷、手代木
議 題：大会の企画について・・・会場、プログラム
ニュースレター、大会案内、学会誌
- ③日 時：2012年3月3日(土) 14:00-
場 所：立教大学セントポールズ会館
出席者：伊東、金澤、佐々木、手代木
議 題：大会の詳細な企画について・・・会場、プログラム
ニュースレター、大会案内、学会誌

★学会誌発行予定

第11号 学会誌..... 4月半ば刊行予定

- 内容・巻頭言..... 佐々木しのぶ
・論文..... 手代木俊一
鈴木治
E.ヘンゼラー
仲万美子
・新刊紹介..... 金澤正剛、佐々木悠
・第11回大会プログラム・報告・・・伊東辰彦

★会員出版物の案内

- エヴァルト・ヘンゼラー / 大津磨由美 選曲・解説
CD『心に響くカトリックの聖歌 明治期から昭和初期まで』
Victor Entertainment 2011年
佐々木悠著 『日本人のオルガン作品』教文館 2011年

★募 集

- *編集委員会より会員の新刊行物を掲載し、皆様にご紹介したいと思います。編集委員(手代木、佐々木宛)までお知らせください。

★会費納入のお願い

会の運営に対して、いつも支援をいただき感謝申し上げます。2012年度会費、また、2011年度の会費をまだ納入されていない方は、ぜひ下記の口座にお振込ください。会費を完納された方には『日本讃美歌・聖歌 研究書誌』をお送りしております。

キリスト教礼拝音楽学会 東北地区部会
郵便振替口座 02240-3-46335

- 入会金：3,000円(入会時のみ)
年会費：正 会 員 6,000円
準 会 員 3,000円
賛助会員 20,000円

- 振込用紙には* ____年度 / 正・準・賛助会員 / 会費 _____ を必ず明記の上、ご送金ください。
- 住所変更等も、お知らせください。
- 会費納入についてご不明なことがございましたら、下記にご連絡をお願い申し上げます。

会計担当 佐々木しのぶ
〒980-0023 仙台市青葉区北目町6-6-1101
TEL/FAX 022-262-6565
Email:sshinobuorg@ybb.ne.jp

